

第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会報告

福島県高等学校PTA連合会会長 石川 直哉

第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会が、「広めよう 高めよう 慈しむ心」のテーマのもと、8月20日、21日の二日間、佐賀県内4市5会場で開催され、全国から9千名を超える会員が参加しました。本県からは例年100名前後の参加者があるところですが、本年度は遠隔地での開催ということもあり、23校67名の参加でした。

開会式に続く基調講演では、ラジオDJのレモンさんこと山本シュウさんが、一人一人が慈しむ心を持ち、コミュニケーション力を高める方法を熱く語り、多くの参加者の心を動かしました。午後の分科会はAIやICTについて多く扱われたことが今大会の特徴かと思われました。翌日の記念講演は各会場に素晴らしい講師が招かれておりました。閉会式では、メインとなる分科会報告を全国高P連研究発表の担当理事として私が登壇し報告させていただきました。

なお、開会式の席上、平成24年度の県連会長、全国理事、調査広報委員長を務めた関根英樹氏（福島高）が文部科学大臣表彰、前年度県連会長の矢部浩樹氏（安積黎明高）、前年度県大会事務局のいわき光洋高校PTAが全国高P連会長表彰を受けました。



全体会で分科会の報告をする石川会長